

【北海道常呂川】ミズから命を守る「川の防災学習会」を実施

(自ら・水から)

- ◆ 北海道開発局網走開発建設部では、常呂川に近接する北見市立小泉小学校において「川の防災学習会」を実施しました。
- ◆ 同校では平成20年度より河川環境や地域への理解を深めるため4～6学年の3カ年1サイクルとした「防災・環境教育活動プログラム」を作成・実施し、川での体験活動を取り入れた「生きる力」を養う学習会を行っています。
- ◆ 学習会では、夏の台風による洪水の写真などから被害の大きさを確認し、5学年では学区内のハザードマップを作成。6学年では実際の避難を想定した図上訓練を行いました。



【学習会概要】

開催校 北見市立小泉小学校

(全校児童 599名)

5学年(マイ・ハザードマップ作成)

●開催日：平成28年11月8日(火)

●対象：5学年 108名

6学年(災害図上訓練(DIG))

●開催日：平成28年11月7日(月)

●対象：6学年 94名

学習会の様子



児童らが自宅周辺の危険箇所を確認し回避した避難ルートを検討(6学年)

模型実験で災害時の理解をサポート(5学年)

常呂川では、大規模な氾濫の発生に備え、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進する「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます。(参考)網走開建HP：<http://www.ab.hkd.mlit.go.jp/kasen/gensai/index.html>

自然災害から命を守るためには幼少期からの防災教育が重要であり、災害対応の実務を担う網走開発建設部では、学校教育現場における防災教育の支援を行っています。